

## 様のご家族へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	2日目	3日目
目標	光線療法開始に伴う全身状態の変動がない 家族の児の病状に対する不安が最小限になる	黄疸の値が入院時より低下する	黄疸の値が安全な範囲内に低下する
検査	 病状に合わせて採血します		 採血をします
食事	制限はありません 直接哺乳もできます ※ミルクの準備はご家族でお願いします		
処置・観察	 朝・昼・夜に体温・脈拍などを測定します  ネームバンドを装着します  光線療法を行います 光線療法中は心拍数・呼吸数・酸素飽和度を見るためのモニターをつけます 必要時哺乳量、尿量を測定します	 血液検査の結果によって光線療法の延長・終了が決まります  延長の場合は引き続き光線療法を行います  終了の場合、心拍数・呼吸数・酸素飽和度を見るためのモニターを外します	  ネームバンドを外します
注射	 哺乳状態・採血の結果によっては点滴を行います		
行動	 光線療法中は保育器内で過ごします 全身に光線をあてるため、オムツ1枚となります 出来るだけ照射部位が増えるよう、オムツを小さくあててください 光線から目を保護するためアイマスクをつけます 保育器より赤ちゃんを移動する場合は看護師が行いますのでナースコールを押してください 哺乳時は光線療法を一時的に中断します 効果的に光線療法を行なうため、1回の授乳・哺乳は30分以内としてください 効果的に光線療法を行なうため、哺乳中以外の抱っこはご遠慮ください		
		 光線療法終了後、コットで過ごします (延長の場合は引き続き光線療法を行います)	 2日目以降、1日1回沐浴を行います
説明	 医師より説明 ・検査結果と入院後の治療計画について   看護師より説明 ・入院生活につて	※退院の目安 光線療法によって黄疸値が低下し、光線療法終了後も安全な範囲で安定していること	 医師より説明 ・次回外来受診日について 次回受診時は採血があります   看護師より説明 ・退院後の生活について

\*入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。  
 \*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。  
 \*入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。